

「薬学教育」原稿チェック票

*投稿する前に原稿を点検確認し、原稿に添付して提出して下さい。下記項目に従っていない場合は、投稿を受領しないことがあります。

- ☐ 1. 筆頭著者は本学会会員である。
- ☐ 2. 投稿論文の内容は、他の出版物（国の内外を問わず）にすでに発表あるいは投稿されていない。
- ☐ 3. 投稿論文の研究は、関連した法規、指針、ガイドラインを遵守して実施している。
 - ☐ 3.1. 人を対象とする研究は、研究対象者への倫理的配慮のもと実施し、本文中「方法」に倫理的配慮の項目を設け、具体的な配慮の内容を明記している。
 - ☐ 3.2. 規制対象研究（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」や臨床研究法等に該当するもの）は、所属施設等の倫理審査委員会等で承認を受け実施し、本文中「方法」に倫理的配慮の項目を設け、倫理審査委員会等の承認内容を明記している。
 - ☐ 3.3. 規制対象外研究（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」や臨床研究法等に該当しないもの）は、研究実施前に下記の倫理審査要件確認項目※を参考にし、項目 1, 2 にチェックが入る項目がある場合は、所属施設等の倫理審査委員会等に申請し判断を仰いでいる。その際、倫理審査委員会等から審査対象外と判断された研究は、その旨を明記している。

倫理審査要件確認項目

項目	1	2	3
研究対象者の心理的負担	☐ あり	☐ 少しあり	☐ なし
研究対象者の身体的負担	☐ あり	☐ 少しあり	☐ なし
個人情報の取扱	☐ あり		☐ なし
研究者と研究対象者の心理的な力関係	☐ あり		☐ なし

1, 2 にチェックが入る項目がある場合、所属施設等の倫理審査委員会等に申請し判断を仰いでください。

※氏原 淳，病院研究倫理委員会における規制対象外研究の倫理審査体制．図 4 規制対象外研究の倫理審査要件チェックシート（案）．薬学教育第 7 巻（2023）doi: 10.24489/jjphe.2023-019 より

- ☐ 4. 投稿論文の研究実施および論文執筆に AI 支援ツールおよび関連技術を利用した場合は、そのツールの名称とバージョン、および利用した目的と範囲、プロンプトや利用プロセスの概要を本文中に明示している。
 - ☐ 4.1. AI 支援ツールおよび関連技術を著者または共著者として記載していない。
 - ☐ 4.2. AI 支援ツールおよび関連技術が生成した内容については、著者が正確性・妥当性・独創性の責

任を負うことを確認している。

☐ 4.3. 原稿には剽窃がなく，引用箇所には適切な出典表示を行っている。

☐ 4.4. AI 支援ツールおよび関連技術を用いて翻訳または英文作成を行った場合，内容を著者自身が理解し，不適切な表現が含まれていないことを確認している。

☐ 5. 原稿は定められたテンプレートを用いて作成し，数字，記号は半角文字を用いている。

☐ 6. 原稿の表紙に以下の情報がすべて記載されている。

1) 論文題名，著者名，所属名（和文・英文）

2) 連絡者の住所，電話番号および e-mail アドレス

3) 論文の種類（原著論文，短報，総説，実践報告）

☐ 7. 和文抄録 400 字以内，英文抄録 250 語以内をつけている。

☐ 8. キーワード（日本語・英語でそれぞれ 5 語以内）をつけている。

☐ 9. 英文抄録はネイティブスピーカーによる校閲を受けている。

校閲者（会社）名：

☐ 10. 図，表は 1 ページに 1 点ずつ作成し，すべて明瞭なものである。

☐ 11. 原稿の長さは本文，文献，図表を含めて投稿規定の制限範囲内である。

☐ 12. 用語の使用方法は投稿規定に従っている。

☐ 13. 本文の最後に投稿規定に沿って利益相反に関する開示を行っている。

☐ 14. 本文中の文献の引用は，該当箇所の右肩に番号で示している。

☐ 15. 文献の記載方法は投稿規定に従っている。

以上

日 付：

論 文 名：

筆頭著者名：